

第4回 ときわぎ国領との懇談会

平成 19 年 6 月 9 日（土）10 時～

ときわぎ国領から 4 名の方が来てくださり「介助について」勉強会を行いました。

当日は、お天気が心配されましたが、30 数名の参加者があり、皆さん真剣にメモを取り、実技体験に参加しました。

《管理組合から・・・》

- ・【サロン・タマリバー】も 8 回を向かえ、皆さんに周知されるようになり、楽しんでいただいております。しかし「誰かがちょっと手を添えてくれたら・・・車椅子を押してくれたら参加したいのに」との声も聞かれるようになりました。そんな声に応えていくために、今日の勉強会の開催となりました。

- ・相談窓口の 7 月開設に向け【タマリバ委員会】で準備しています。

- ・ボランティア活動もメンバーを募り実施していきます。継続することが大事、明日につなげる、明日に役立つ活動をしていきます。皆さんの協力が大切です。よろしくお願いします。



《伊東さんから「介助について」》

☆介護の心構えとして、生活困難者を主体に、相手の人格を尊重して、無理のない介助・介護が必要。

☆高齢者と上手に接するためには、挨拶は不可欠です。説明ひとつひとつをゆっくりと行なうことを心がけましょう。

☆高齢者が望んでいることを理解するには、ゆったりと実現していくことに手を貸しましょう。決して慌ててはいけません。

誰でも「自分の存在、生きてきた価値観を認めてもらいたい、周囲から大事に思われたい、役に立つ存在だと思いたい」そんな気持ちを持っています。介助・介護を受けても「対等」な存在である事を忘れないで。

《さあ実践です》

車椅子介助、杖歩行介助、階段の上り下り介助、衣服の着脱介助を教わりました。

車椅子の種類、構造、名称の説明、たたみ方、広げ方から始まり、実際に乗ってみて介助される人の立場、介助する立場を実感しました。

ちょっとした段差も車椅子には大変なこと。でもちょっとしたコツでうまく介助できることを知りました。

杖歩行介助は、人間の歩く時の重心の移動を理解して介助するとスムーズに出来ます。



階段の上り下り介助は、実際に4号棟を使い行ないました。

上がりは「健側の足（良い方）」から、下りは「患側（悪い方）」からだすのが基本。

介助者は支えになる位置に立って介助するのが大事です。



衣服の着脱介助は、「患側」から着せて、「健側」から脱がすことが良いようです。

